

「欧米の進出と日本の開国」

本単元で育成する資質・能力

知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学ぶ力
他者とかかわる力

① 単元について(単元観・生徒観・指導観)

1 単元観

本単元は、次の2つの内容から構成されている。1つ目は、欧米諸国における17～19世紀の近代革命・産業革命を経た発展とアジア侵略の様子である。2つ目は、開国と不平等条約、その影響で幕藩体制が動揺し、江戸幕府の滅亡によって近世封建社会が崩壊していく過程である。欧米諸国によるアジア侵略は、日本にも伝わってきており、日本にもアメリカをはじめとして多くの欧米諸国が接近してきた。ペリー来航によって幕府がそれまでの鎖国政策をやめ、開国したことによって、外国の制度や文化が日本に取り入れられ、貿易が盛んに行われるようになった。また、日本にとって不利な条約を武力を背景に結ばされることにもなった。そのことによって、幕府の権威が失墜し、物価が高騰して政治や経済の混乱を招いた。その後、幕府は倒れ、幕府が日本全体の政権をとり、二百数十の藩が地域ごとに政治を行う幕藩体制から、天皇を中心とした中央集権体制へと変化していった。

本単元の学習を通して、学習指導要領の目標(3)に示されているように、歴史にみられる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせる。また、目標(4)に示されているように、様々な資料を活用して、歴史的な事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

本単元では、欧米諸国と日本の様子を関連付けることで、国際的な視点から日本の社会が近世から近代へと転換した背景を考察させ、歴史の大きな流れを理解させることをねらう。

2 生徒観

本単元で扱う内容について、生徒は小学校でペリー来航により日本が開国し、幕府が倒れるきっかけとなったことを学習しているが、その背景となる欧米諸国の近代革命・産業革命やアジア侵略の様子については学習していない。

次に示すのは、事前アンケートの結果である。(34名に実施)

	肯定的回答の人数 (%)	否定的回答の人数 (%)
(1) 歴史の学習は好きである。	19人 (55.9%) 【主な理由】 ・歴史上の人物が好きだから。 ・昔の人が何をして今の時代になったか知ることができるから。 ・昔の人の生活や文化を知ることができるから。	15人 (44.1%) 【主な理由】 ・難しいから。 ・覚えるのが大変だから。
(2) 歴史の学習は得意である。	17人 (50%) 【得意なこと(複数回答可)】 用語や人名を覚えること…15人 (44.1%) 資料を読み取ること…5人 (14.7%) 理由や変化の様子について文で説明すること…1人 (2.9%)	17人 (50%) 【なぜ苦手か(複数回答可)】 用語や人名が覚えられない…14人 (41.2%) 用語の意味が分からない…10人 (29.4%) 資料が読み取れない…4人 (11.8%) 文で説明できない…10人 (29.4%)
(3) 資料をもとに、自分の考えをまとめ、説明する問題は得意である。	12人 (35.3%)	22人 (64.7%) 【どうすればできると思うか(複数回答可)】 使う言葉が指定されていればできる…9人 ()を埋めてならできる…10人 言葉が指定されても()があってもできない…5人 練習を繰り返せばできるようになる…7人

(4)日本の開国について、知っていることをできるだけたくさん書いてください。		
正答…12人 (35.3%) 【主な回答】 ・ペリーが黒船で来て開国させられた。 ・いくつかの港を開いて、外国のものが入ってきた。 ・アメリカがやってきて幕府と条約を結んだ。	誤答…4人 (11.8%) 【主な回答】 ・ペルーが来た。 ・鉄砲が伝わった。	無回答・分からない…18人 (52.9%)
(5)開国したことは日本にとって良かったと思いますか。悪かったと思いますか。理由も書きなさい。		
理由あり…16人 (47%)	理由なし…6人 (17.6%)	無回答・分からない…12人 (35.4%)
【主な理由 (良かったと思う)】 ・他の国と交流できるようになったから。 ・他の国から技術や文化などが伝わってきて、盛んになったから。 ・経済が成長したから。 ・いろんな国と関わって、情報が入ってくるから。 ・様々な国と貿易ができるようになったから。 ・それまで外国の文化が入ってなかったから、世界に遅れを取っていたので、先進化するには良かったと思うから。 ・日本のことを他の国に知ってもらうことができたから。 ・日本がまとまったから。		
【主な理由 (悪かったと思う)】 ・外国の人が好き勝手やったから。		

歴史の学習が好きでない生徒や、苦手だと感じている生徒には、歴史的な用語を覚えることや意味を理解すること、歴史的事象の関連や理由について文で説明することに苦手意識を持っている生徒が多いことが分かる。また、歴史の学習について得意だと答えた生徒でも、文で説明することについては得意だと感じている生徒はほとんどいなかった。しかし、文で説明することが苦手だと答えた生徒でも、キーワードを使ったり穴埋めになっていればできると感じている生徒や、練習を繰り返すことでできるようになると感じている生徒が多くいることも分かる。

日本の開国に関わる既習事項については、正しく理解している生徒は35.3%と少ないが、誤答を書いている生徒でも、開国したことが良かったかどうかについて、何らかの理由を書くことはできている。しかし、理由の記述については、「他の国と交流できるようになったから」「外国の人が好き勝手やったから」等のような抽象的な回答をした生徒が、理由を書いた生徒のうち半数おり、歴史的な事象を考察する力に課題が見られる。

3 指導観

本単元では、欧米諸国における発展とアジア侵略の様子と、日本における開国と江戸幕府の滅亡の関連を考察させることによって、江戸末期の時代の特色を大観させる。さらに、単元の終末ではパフォーマンス課題として、開国したことは日本にとって良いことだったのかどうかについて考えさせる。この課題によって、単元で学習した内容を根拠として活用することで、より学びを深めさせることができ、自分の考えを持たせることで、主体的に学習に取り組ませることができると考えられる。なお、この課題は単元の最初に提示し、毎時間掲示することで生徒が意識して学習に取り組むことができるようにする。

指導にあたっては、生徒の課題を踏まえて、次の指導を取り入れる。

- ・基本的な知識の定着度が低い生徒に対しては、授業のはじめに前時で学習した用語を声に出して読み、意味を説明したり、繰り返しノートに書いたりする活動を取り入れる。
- ・自分の考えを根拠を持って説明することが苦手な生徒に対しては、キーワードを示し、生徒によっては説明の型を示すことで、空欄にあてはまる言葉を考えれば説明できるように支援する。

② 単元の目標と身に付けさせたい力について

1 単元の目標

- (1) 欧米諸国のアジア進出や開国があたえた影響について意欲的に追究することができる。
- (2) 開国の影響とその後の幕府政治の推移について、多面的・多角的に考察することができる。
- (3) 欧米諸国のアジア進出や開国があたえた影響について資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果をまとめることができる。
- (4) 欧米諸国のアジア進出を近代革命、産業革命、アジア諸国の動きなどを通して理解することができる。

2 単元の評価規準

ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断・表現	ウ 技能	エ 知識・理解
欧米諸国のアジアへの進出や我が国の開国とその影響に対する関心を高め、意欲的に追究している。	欧米諸国のアジアへの進出や我が国の開国とその影響を多面的・多角的に考察し、公正に判断している。	欧米諸国のアジアへの進出や我が国の開国とその影響に関する絵画、グラフなどの様々な資料を収集し、適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果をまとめている。	欧米諸国のアジアへの進出を背景に、我が国の開国とその影響を理解し、知識を身に付けている。

3 本単元で育成を目指す資質・能力

(1) 本校の設定した資質・能力と本単元との関わり

資質・能力		特に身に付けさせたい力	本単元での育成・評価
知識・技能	知	①学習したことを自ら語れる力（知の構造化）	○
思考力・判断力・表現力	思	①根拠をもとに、正しい判断をする力（論理的思考力）	○
		②よりよい解決のため、いろいろな見方・考え方を持つ力（批判的思考力）	○
		③自分の考えを相手が納得できるよう分かりやすく伝える力（言語力）	○
主体的に学ぶ力	主	①自ら課題を見だし、解決しようとする力	○
他者とのかかわる力	他	①他者と協力して、課題を解決したり、目標に向かって取り組んだりする力	○
		②他者とのかかわりを通して、自分の考えを深めたり広げたりしようとする力	○
社会貢献力	社	①よりよい地域社会のために、何をすべきかを考え実行しようとする力	—
自己形成力	自	①前向きにチャレンジし、より自律・自立した人間になろうとする力	—
		②自信を持つ力	—

(2) 本単元で本校の設定した資質・能力を身に付けさせるための手立て

資質・能力	資質・能力を身に付けさせるための手立て
知ー①	めあてに対するまとめを自分の言葉で書かせる。
思ー①	資料から分かることなどの具体的な根拠を持って説明させる。
思ー②	グループでの話し合いで、他の人の意見に対する質問や自分の意見を述べさせる。
思ー③	ペアやグループの話し合い、学級全体での発表など、表現する機会を多く取り入れる。
主ー①	既習事項とのずれを感じさせるような事象を提示する。
他ー①	グループ活動やペア活動を取り入れる。
他ー②	様々な意見が出るような発問を工夫する。

③ 単元計画

1 単元の全体像（Ⅰ：学習内容、Ⅱ：学習活動、Ⅲ：単元として生徒に身に付けさせたい力）

Ⅰ 17～19世紀の欧米諸国やアジアの様子と幕末の日本の様子について、Ⅱ 欧米諸国の発展およびアジア進出と日本への影響とを関連付けて考察させることを通して、Ⅲ 国際的な視点から歴史の大きな流れをとらえる力を身に付ける。

2 単元の終末で見取るパフォーマンス評価

パフォーマンス課題	評価基準	
あなたは、瓦版の記者です。日本はアメリカから開国を迫られました。結果としては開国したのですが、その判断は正しかったのかどうか、諸外国の様子や開国後の日本の変化を踏まえて、読者に分かりやすいように、根拠とともに説明しなさい。	A	開国が正しかったかどうか、欧米諸国の進出によるアジアの変化および開国後の日本の変化を踏まえた根拠（事実とその影響）とともに、適切な資料を示しながら説明している。
	B	開国が正しかったかどうか、欧米諸国の進出によるアジアの変化または開国後の日本の変化を踏まえた根拠（事実）とともに、適切な資料を示しながら説明している。
	C	根拠として、欧米諸国の進出によるアジアの変化や開国後の日本の変化を踏まえていない。適切な資料を示していない。

3 学習内容と評価の計画

学習過程	時	<input type="radio"/> 本時のめあて <input checked="" type="radio"/> 学習内容	評 価				
			関	考	技	知	
課題の設定	1	<input type="radio"/> これから学習する時代はどのような時代か予想しよう。 <input checked="" type="radio"/> 小学校での学習の振り返り、時代の特色の予想、パフォーマンス課題の提示	○				ア これから学習する時代について、 時代の特色を意欲的に追究しよう としている。 （行動観察）【主-①】
整情報の分析集	2	<input type="radio"/> イギリスやフランスの政治がどう変化したか、理由とともに説明しよう。 <input checked="" type="radio"/> イギリス革命とフランス革命				○	エ ヨーロッパ諸国が近代革命を経て近代国家を形成していった過程を理解し、その知識を身に付けている。（ノート）【知-①】
	3	<input type="radio"/> アメリカの政治がどう変化したか、出来事とともに整理しよう。 <input checked="" type="radio"/> アメリカの独立と南北戦争				○	エ アメリカ合衆国が独立・発展していく過程を理解し、その知識を身に付けている。（ノート）【知-①】
	4	<input type="radio"/> 産業革命がヨーロッパの国々にどのような影響を与えたか考えよう。 <input checked="" type="radio"/> ヨーロッパにおける産業革命				○	イ 産業革命を経て、産業や社会の仕組みが大きく変化したことを 多面的・多角的に考察し、適切に表現している 。 （ノート）【思-②】【他-②】
まとめ・表現・創造	5	<input type="radio"/> ヨーロッパの国々は、なぜアジアを侵略したのか考えよう。 <input checked="" type="radio"/> ロシアの拡大とヨーロッパのアジア侵略				○	イ ヨーロッパ諸国のアジア侵略について、その 理由や背景を考察している 。 （ノート）【思-①】

整理・ 情報 の 分析集	6	○日本は開国によって、アメリカとどのような関係になったのか考えよう。 ●開国と不平等条約				○	ウ 条約の内容や不平等な点について、資料から読み取り、適切にまとめている。 (ノート) 【知-①】
	7	○開国によって日本の社会がどう変化したか資料から読み取ろう。 ●尊王攘夷運動と開国の影響				○	ウ 尊王攘夷運動の高まりや開国の経済的影響について、グループで協力して資料を収集し、読み取ったりまとめたりしている。 (ノート) 【他-①】 【思-②】
まとめ・ 表現・ 創造	8	○江戸幕府がどのようにして滅亡したのか説明しよう。 ●江戸幕府の滅亡				○	エ 開国後、倒幕に至るまでの過程を理解し、その知識を身に付けている。 (ノート) 【知-①】
	9	○開国という判断は正しかったのか、根拠とともに説明しよう。 ●日本の開国に対する是非を判断する【本時】				◎	イ 開国が正しかったかどうか、適切な資料をもとに、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 (ワークシート) 【思-①】 【思-③】

④ 本時の学習

1 本時の目標

欧米諸国の発展とアジア侵略および日本の開国についての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、開国が正しかったかどうかについて、適切な資料をもとに多面的・多角的に考察することができる。

2 本時の評価

評価規準 (評価の観点)	評価基準	
開国が正しかったかどうか、適切な資料をもとに、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 (ワークシート) 【思-①】 【思-③】	A	開国が正しかったかどうか、欧米諸国の進出によるアジアの変化および開国後の日本の変化を踏まえた根拠 (事実とその影響) とともに、適切な資料を示しながら説明している。
	B	開国が正しかったかどうか、欧米諸国の進出によるアジアの変化または開国後の日本の変化を踏まえた根拠 (事実) とともに、適切な資料を示しながら説明している。
	C	根拠として、欧米諸国の進出によるアジアの変化や開国後の日本の変化を踏まえていない。適切な資料を示していない。

3 準備物

資料カード, ワークシート, ホワイトボード, マーカー

4 学習展開（9 限目/9）

学習過程	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・創造・表現	実行	振り返り
学 習 活 動		指導上の留意点			評価規準 (評価方法) 【資質・能力】	
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 前時の復習をする。 (K)…くり返し挑戦する) 本時の流れと課題を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な用語の意味を確認し、ノートに繰り返し書かせる。 本時の流れと課題の評価基準を確認する。 				
<p>【本時のめあて】 開国という判断は正しかったのか、根拠とともに説明しよう</p>						
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> 正しかったとする理由と正しくなかったとする理由を考える。 (J)…じっくり考える) それぞれの理由を発表する。 (H)…はっきり表現する) 発表をもとに、自分の考えをワークシートに書く。 (J)…じっくり考える) 考えを発表する。 (H)…はっきり表現する) 	<ul style="list-style-type: none"> 使う資料を複数用意しておき、正しい方と正しくない方に分類させる。 (資料) アヘン戦争, 高杉晋作が見た清, 日米和親条約, 日米修好通商条約, 貿易額の推移, 貨幣の改鋳, 物価の高騰など 正しかったとする理由を考えるグループと正しくなかったとする理由を考えるグループに分ける。 個人思考をさせた後, グループでまとめさせる。 2グループずつ指名して発表させる。 予想される反応 正しかったとする理由 (例) アヘン戦争に敗北した清国のように領土をとられてしまうから。 正しくなかったとする理由 (例) 日本国内の物価が上昇して庶民の生活が苦しくなったから。 不平等条約を結ばされたから。 根拠にする資料を上記の中から選ばせる。 根拠となる資料を提示して, 自分の考えを発表させる。 予想される反応 正しかったとする理由 (例) 南京条約や高杉晋作の資料から, アヘン戦争に敗北した清国のように不平等条約を結ばされただけでなく, 領土をとられてしまったから。 正しくなかったとする理由 (例) 不平等条約や開国の影響の資料から, 日本国内の物価が上昇して庶民の生活が苦しくなったから。 			<p>開国が正しかったかどうか, 適切な資料をもとに, 多面的・多角的に考察し, 適切に表現している。 (ワークシート) 【思-①】 【思-③】</p>	

まとめ (5分)	・振り返りを書く。	・2～3名に発表させる。 予想される反応 (例) 他の人の意見を聞いて、自分の考えをまとめることができた。 資料を使って、開国が正しかったかどうか自分の考えを発表することができた。	
-------------	-----------	---	--